

三陸の海を放射能から守る

岩手の会

郵便振替 02240-5-102650

《再処理／岩手の環境》

http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm

《まった再処理分庫》

http://briefcase.yahoo.co.jp/k_imag

止めよう!

《再処理》

《天恵の海》

2008 (平成20) 年

1月 31日

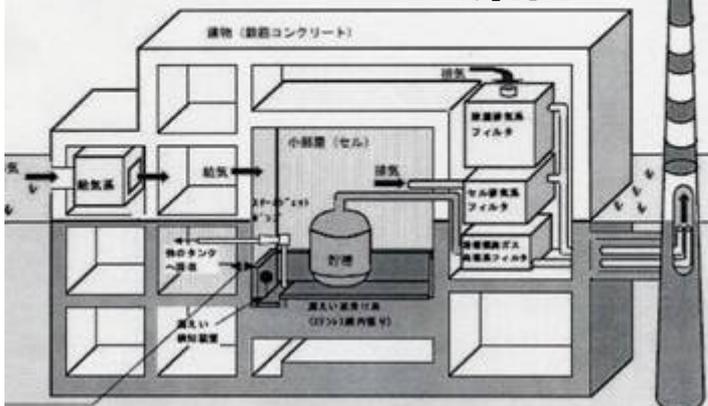
第65号

編集事務局 S.Oshida

TEL・FAX 019-623-1636

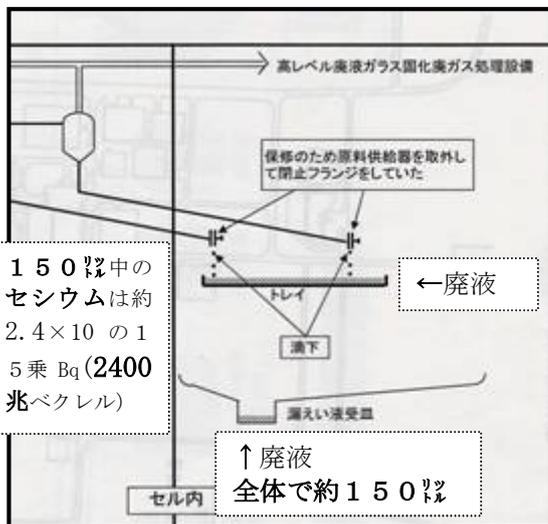
高レベル廃液セル内漏洩事故発生

150ℓが漏出 セシウムは広島原爆の死の灰の数倍



日本原燃の兒島伊佐美社長は一月三十日の定例記者会見で、溶融炉へ高レベル放射性廃液を供給する配管の接合部から廃液がセル内に漏えいした事故について調査結果を発表しました。それによると、漏出量は事故発見直後発表の二十一日ではなく一五〇ℓであったと訂正、うち約一七ℓを回収したとしました。環境に漏れれば苛酷事故もあり得る高レベル廃液のトラブルであり、正確な漏出量さえつかめない再処理工場の運営実態に不安の声が強くなっています。

溶融炉への廃液供給図 (原燃資料より)



セル内漏洩トラブルの概要図 (日本原燃ホームページより)

どうして当初の発表は二一ℓだったのか
 兒島社長は「廃液は九日から漏れていたと見られる。タンクからの廃液供給は空気圧で調整するが、漏えい時は空気圧が上昇し廃液が供給される状態だった。一七日から断続的に漏えい注意報が鳴ったが廃液漏れとは考えなかった。空気圧が上がった原因については不明であるが、今後、空気圧の変動防止と蓋のボルトの閉め方の改善を図る」と述べました。そして今回の漏えいが「高レベル廃液であることを厳粛に受け止める」と語りました。ガラス溶融炉トラブルについては、「ドリルを使って炉の流下ノズル下部

から炉底電極付近へと上方向に穴を開けて流路を確保し、ガラスの流下性向上を図る作業を一日完了した」とし、アクティブ試験終了は「二月から八月へ変更」と発表しました。
 漏えい量が大幅に訂正されたにも拘らず、経過の説明もなく、とても疑問点の多い発表内容です。**廃液のセシウム濃度は一六〇億ベクレル/ℓ**、一月二二日付東奥日報は「漏れた廃液中の放射性セシウム137の濃度は一ミリアたり一六〇億ベクレル」と報じています。これをもとに計算すると、一五〇ℓの漏出液中のセシウム137は二四〇〇兆ベクレルとなります。広島に落とされた

原爆が放出したセシウム137は三千キュリー(京都大学・小出裕章氏・換算すると一〇一兆ベクレル)ですから、実にその約「二一倍」とも計算出来ます。万一、環境へ漏出したならば大変な被害が予想され、看過できぬとても深刻な事故です。**廃液全体でケル/マイリ事故の何倍か?**
 さらにこの数値で六ヶ所工場に現在溜まっている「二四〇立方メートルの高レベル廃液」のセシウムの放射線量を計算しますと、 $3 \cdot 84 \times 10^8$ の18乗ベクレルとなります。これはチェルノブイリ原発事故で環境に放出されたセシウムの約「四二倍」。但し漏れた廃液は「蒸発している」とも報じられていますのでタンク内の廃液はこれより薄いかも知れませんが大きな数値であることは確かです。原燃は廃液に含まれる全ての核種について濃度を公表し、危険な実態を詳しく報ずべきです。
モニタリングポスト火災
 日本原燃は、二一日午後六時四十五分頃「モニタリングポストNO2」で電源が失われ、基盤の一部に焼失痕があり、八時四十分鎮火を確認した」と発表しました。

高レベル廃液の安全管理を

青森県は国へ申し入れを!

昨年一二月に全国三八市民団体が連名で青森県に提出した「大地震による高レベル廃液放出事故防止等質問書」について、一月九日文書で回答がありました。県は「安全について第一義的に責任を持つのは事業者、安全規制は国にある」とし、「青森県としての住民の命と生活を守るための責任」については充分に答えていません。市民団体の代表者は一月二六日再度青森県庁を訪れ、「知事宛要望書」を提出し、「高レベル廃液による環境汚染が絶対に起こる事のないよう、県は最大限の努力をするべきである」と申し入れました。



応対した青森県原子力立地対策課三上雄二総括副参事ら四人の担当者との四〇分ほどの面談がありました。二一日の「セル内廃液漏れ」(Bレベル情報)の直後でもあり、具体的に真剣な話し合いとなりました。工場から六ヶに住む菊川慶子さん宅には、二一日のトラブル情報は翌日に広報され、「緊急の場合、これで間に合うのか」と県の対応の遅さが指摘されました。

チェルノブイリ原発事故との比較

県の回答(要点) 貯蔵中の廃液は二四〇立方メートルと聞いているが、チェルノブイリの放出放射能とは種類や構成が異なるので単純には比較できない。**市民の要望** セシウム137で比較するとチェルノブイリ事故の約「四二二倍に相当する量である。その他の核種も資料が公表されるべきだ。

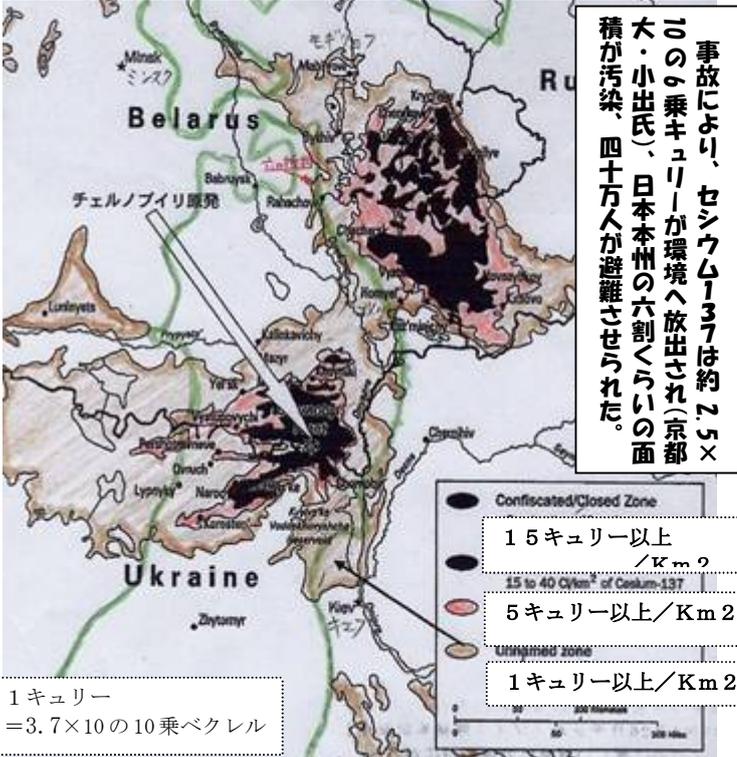
直下活断層説、M・8大地震で大丈夫か

県の回答 工場の廃液管理には平成一八年改訂の耐震指針を基準として頑丈なセルや溝が配され、

冷却や水素の排気についても外部電源のほかにも系列の非常電源によって備えられている。**市民の要望** M8の大地震はM6・5の一八〇倍のエネルギーがある。パイプが延べ一三〇〇キロメートル、継ぎ手が数十万箇所。大地震でも安全と保証できるのか? 「冷却が止まって一五時間で沸騰する」「水素の滞留限度は数時間」などと言われるが先ず正確な事実を確かめてほしい。また、冷却用の電源喪失に備えて電源

車や電源ヘリの整備が必要でないか。**放射能規制は「環境基本法とは別」が問題****県の回答** クリプトン・トリチウムなどの環境放出規制について環境基本法を受けて現行原子力基本法があり十分である。**市民の要望** 現行では放射能の環境放出が「原子力基本法での別枠」となっており環境基本法の法体系から外れていることが問題なのである。

チェルノブイリ原発事故のセシウム137汚染分布地図と日本地図の比較 (同縮尺) Handbook of International Economic Statistics 1996



- 黒 15 キュリー以上・・「永久立ち入り禁止区域」
- ◎灰色(桃) 5 キュリー以上・・「定期監視区域」
- 薄灰色(茶) 1 キュリー以上・・「汚染区域」

六ヶ所村ラフソナイ
東日本サミット
「目的はひとつ、道交造り」
盛岡市・市町村職員共済会館ビル
二月七日 午後二時 閉会
現状報告
鎌仲ひとみ監督挨拶
「じゃべり場」
「止めよう! アクションプラン」
分科会・交流会
八日 全体会 九時~二時終了
問い合わせ わかめの会
〇九〇一五四〇二一九五二